

11月号

地域おこし協力隊しんぶん



うえまつ しほ
植松 史歩

◆3年間ありがとうございました

阿智村に来させていただき、あっという間という言葉通りの3年間でした。1年目は、一日いちにちの積み重ねのなかの一年間。2年目は、自分のやりたいことがどれだけ阿智の方は必要とされているのかを確かめる一年間。3年目は、3年前に来たとは思えない空気感や人との関係性を感じている今です。

私は、自分が小学生だった頃から小学校という場が好きで、阿智村役場に初めて来た時、お昼と夕方にチャイムが鳴り、なんだか学校と同じような感じがして、「好きな場所だな、落ち着くな。」と思いました。今いる「協働活動推進課」も好きな場所です。

◆住んでいる場所

今、私は「智里西」地区に住んでいます。とても山が近くて、記事を書いている今は10月末ですが、紅葉が始まりつつあり、毎朝の通勤が楽しみです。春には春のにおいの風が、西地区の方だけではなく、阿智の方はみんなそうかもしれませんが、「このにおいや空気を感じたら雨が降る」というのがすぐに分かるようで、そんな生き方がとてもいいなと思っています。



◆地域おこし協力隊としての3年間

3年間で学んだことを考えると大きすぎて一言では言いにくいですが、言葉で表すとしたら、「しほ」、「しほさん」、「植松」、「植松さん」、「しほちゃん」、「おきくさん」といくつも自分を呼んでもらえる言葉ができたことかもしれません。

地域に、私が地域おこし協力隊としてできたことは、自分で言うにはまだ自信が持てませんが、今まで家族や友だちなどからしか呼ばれたことない近さで、名前を呼んでもらえる人がいること。それが、私の3年間なのかなと思いました。

地区に住んですぐは、地域おこし協力隊だから優しくしてくれているのかなとか、地域にいた方だけの暮らしの方が安定するし、他のところから来た人はいない方がいいのかな、などと考える時もあり、今もまだ考える時があります。でも、色んな行事はもちろん、日々の暮らしのなかで、笑いあったり、からかわれたり、みんなで同じことに向かって考えていく時の楽しさは、自分の中でとても自然で、地域にいるということを実感します。

そんな自分が今後地域のなかで何ができるのか。目立つことでなくて、本当に地域にとって必要なことに手を伸ばせるようなことが今後できたらうれしいなと思います。

◆さいごに

3年間、近くで遠くで見守ってくださった方々、本当にありがとうございました。今後やっていくことが、今までお世話になった方へ、今度は私がサポートできるような役割になれたらいいなと思います。これからもどなたもたはたしていきと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

